

(様式1・小学校用①)

令和2年度 学校評価報告

草加市立八幡北小学校

(令和3年1月27日作成)

1 学校教育目標 なかよく (徳) かしこく (知) たくましく (体) 知・徳・体の調和がとれた笑顔あふれる八幡北小	
2 重点目標・努力目標 (1) 自ら学ぶ力を育てる ①主体的・対話的で深い学びの実現 ②市教委研究委嘱 (2) 豊かな人間性を養う ①道徳教育の充実 ②人権教育の充実 ③学校図書館教育の充実 ④生徒指導・教育相談の充実 (3) たくましく生きる力を養う ①体力向上と健康教育の充実 ②幼保小中の連携・一貫教育の充実	3 前年度の成果と課題 成果 ○学習規律の共通理解と実践 ○特別活動研修の充実 課題 ●主体的・対話的で深い学びの実現に向けてのさらなる授業改善と学習改善 ●生徒指導・教育相談の連携

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○学校経営方針を基に、教職員の経営参画を推進することができた。 ●教職員の働き方改革を推進し、協力体制を強化する。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○「学ぶ喜びを味わわせる授業の創造」を研究主題とし、自己肯定感・自己有用感を育む児童の育成が図れた。 ●授業力向上に向けた研修の充実と授業改善をさらに強化していく。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○毎日の保健安全点検を通して、感染症対策を強化し保健衛生管理に努めた。 ●様々な事案を想定した危機管理マニュアルに基づく対応の共通理解と実行を徹底する。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報保管における共通理解共通行動の徹底を行った。 ●日常的で適切な施設設備の維持管理の継続をする。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○学校運営協会委員との連携を行った。ホームページの充実を図り、教育活動の積極的な公開に努めた。 ●地域連携をより一層推進する。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	A	○青柳中学区委嘱研修と乗り入れ授業を通して、小中一貫教育推進を図った。 ●さらに幼保小一貫教育を推進するために年間指導計画の見直しを行う。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	<ul style="list-style-type: none"> 15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 教育計画の作成 教育活動の評価 目標、方針の周知 授業時数の配当、確保 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルに基づき、年間指導計画の改善を図るとともに授業時数の確保に努めた。 ●新しい生活様式に基づいた教育計画を作成する。
	②教科指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 評価、評定の工夫 外部人材の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○PDCAサイクルと学びのRに基づき、「主体的・対話的で深い学び」実現に向け授業改善を図った。 ●地域人材を活用する。
	③道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の作成 各教科との関連 道徳的実践力の育成 家庭、地域社会との連携 いのちの教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業での発言、道徳ノートの活用により、評価材料の充実を図った。 ●考え、議論する道徳に向けた授業改善を行う。
	④外国語・外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導方法の工夫と改善 評価、評定の工夫 各教科、道徳教育との関連 中学校との連携 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解教育の一環として全学年で担任とALTによる外国語・外国語活動の授業を計画的に実施した。 ●中学校教員との連携し、教員研修を充実する。
	⑤特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 学級活動、学級経営 学校行事 児童会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○特別活動を校内研修で行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組を行った。 ●新しい生活様式に合わせた学校行事の計画立案・実践を行う。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画の立案 指導内容の充実 指導方法の工夫と改善 評価の工夫 地域の人材・物的資源の活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「バリポリドリル」を活用し児童が地域に関心をもち、主体的に学習活動を行った。 ●「まなぼうふるさと草加」を指導計画に明確に位置付け、地域への関心を高める
	⑦生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 組織的な生徒指導 問題行動への対処 教育相談、児童理解 いじめ防止対策 保護者、地域、諸機関との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導委員会を軸に、全職員による共通理解が図られ、問題行動や不登校児童の対応が効果的に実施できた。いじめ防止対策委員会の実施。 ●地域、関係機関との連携を推進する。
	⑧キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 計画の立案 指導内容の充実 中学校との連携 啓発的経験の充実 家庭、地域との連携強化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校からの乗り入れ授業や校外学習等を通じた体験活動の実施、取組を充実させることができた。 ●特別活動の年間指導計画への位置づけ、PDCAサイクルを生かし、キャリア教育の充実を図る。
	⑨特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画、支援計画 指導方法の工夫と改善 通常学級との交流 諸機関との連携 校内支援体制の整備 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修、巡回相談等の外部機関との連携等を効果的に実施し、効果的な指導に向けた共通理解が図れた。 ●児童の実態に応じた効果的な支援の充実・改善を行う。
	⑩学校図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 指導計画、支援計画の作成 図書館補助員の活用 諸機関との連携 図書館の整備 図書館利用の工夫 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○朝読書、学校図書館、中央図書館サービスを活用し読書活動を充実させることができた。 ●各取組の一層の充実、改善を行う。
	⑪情報教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画の作成 校内研修の充実 ICT機器の積極的な活用 情報モラル教育の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○機器活用に関する校内研修を実施すると共にICT支援員を活用し学習活動の充実が図れた。 ●情報モラル教育をより一層充実させる。
	⑫人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定 各教科との関連 人権感覚の育成 校内研修の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内人権週間でのビデオ視聴、人権感覚育成プログラムの実施等、活動の充実を図った。 ●人権感覚育成プログラムをもとにした授業を地域・保護者へ公開する。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
III 特色ある学校づくり	①体験活動の充実	・豊かな体験活動	A	○外部講師の招聘や校外学習等を通じた体験活動の実施、八北学校ファームでの農業体験活動等、取組を充実させることができた。 ●各取組の一層の充実、改善を行う。
	②学力の向上	・基礎基本の徹底	B	○基礎基本に加え、業前に北っ子タイム（活用問題への取組）も実施し、基礎学力の向上に努めた。 ●学力の定着へ基礎基本の確実な定着を図るため、全校統一した取組を実施する。
	③体力の向上	・個々の体力の向上	A	○本校独自の「八北体操」の継続実施することで学習規律を徹底し、体力向上に努めた。 ●児童の実態分析による弱点強化に向けた授業改善を行う。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

本校は、「なかよく かしこく たくましく」の教育目標のもと、豊かな心、確かな学力、健やかな体づくりにむけ、学習規律の徹底と学習指導の充実、特別活動の充実、道徳教育の充実、人権教育の充実、学校図書館教育の充実、生徒指導・教育相談の充実、体力向上と健康教育の充実、幼保小中の連携・一貫教育の充実に取り組んできた。

学校関係者評価では、「保護者・地域の願いへの対応」「安全面・衛生面への配慮」「わかりやすく工夫した授業や丁寧な指導」「児童の相談への適切な対応」等について成果を上げていると評価され、児童が学校に行くのを楽しみにしていると捉えられている。

今後も、今年度の教育活動を基盤とし、児童のよりよい成長に向け、全教職員が一丸となり、教育活動の充実・改善を図っていく。

6 次年度の改善策

学校教育目標の具現化にむけ、地域の実態に応じ、新しい生活様式に考慮したP D C Aサイクルに基づき、次のように改善を図っていく。

- ・家庭、地域との連携をより一層充実し、地域・学校・家庭が一体となった教育の実施。
- ・学校からの情報発信として学校HPをさらに充実したものとし、積極的な更新を行う。
- ・児童に寄り添ったきめ細やかな指導、わかる授業の実施を心がけ、基礎基本の確実な定着を図り、児童の確かな学力を育成する。
- ・草加市教育委員会委嘱をもとに校内研修を充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
- ・学級経営を基盤とした確かな学力の育成。
- ・インクルーシブ教育の実施に向けた、ユニバーサルデザイン等の学習環境の整備。
- ・不登校傾向にある児童への対応、配慮を要する児童への対応を全職員で共通理解し、外部機関とも連携を図りながら、組織的に対応していく。
- ・豊かな心の醸成に向け、「考え、議論する道徳」授業の実践に向けた研修を行う。